

様式4: 地区連絡会議報告書

○農地利用状況調査からみる課題について

(京都府船井郡京丹波町丹波地区連絡会議)(第5回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

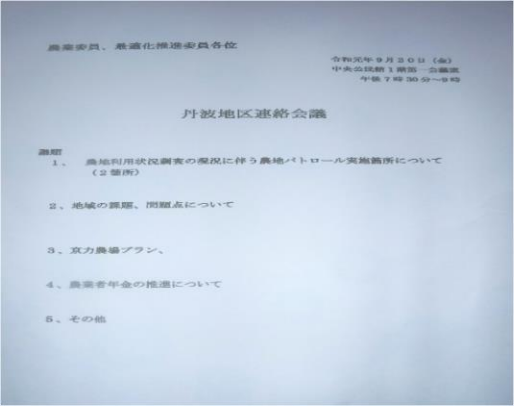
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業振興地域整備
計画見直し・農地利
用状況調査説明会)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年9月20日
- 場 所: 京丹波町中央公民館
- 出席者: 最適化推進委員 4人
農業委員 3人
- 報告者: 塩 貝 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 京丹波町の中心地域にあり、役場、京都縦貫道路のインターと合わせて道の駅がある
- 中山間に位置づけられる農地もあるが中心地域は平坦でほ場整備された良い農地が展開

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農地利用状況調査から見えた課題
 - ・畜産農家は自前で牧草を栽培していないので、牧草畑の管理が行き届いていない
 - ・大規模経営農家や法人が経営している地域は遊休農地が少ない
 - ・利用状況調査結果を踏まえ今後実施予定の農地パトロールで課題の農地を確認することとしたい
- その他
 - ・中山間地域等直接支払制度が令和2年新たに協定農地を登録することになる。現在概算要求中となっているが、これまでの連帯責任制では農地保全に消極的となるので制度を見直し中で注目していきたい
 - ・京丹波町では農振の特別管理が行われており、利用状況調査結果も反映されると良い

4 活動結果

- 情報・意見交換 1.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援